

目次

■まえがき	1	第3章 検定教科書時代の算数教育	81
■編集方針・凡例	2	*資料	
序章 総説	9	3-1 渡辺董之介：「本邦教科書制度の沿革」	83
第1章 教育の軍国主義化と「理科」教育の発足	15	3-2 尾関正求：『 ^{実用} 数学新三千題』——過去のなごり	86
*資料		3-3 小笠原利孝：『 ^{小学} 算数教科書』——検定教科書の早期のもの	86
1-1 森有礼の師範教育の基本精神——従順・友情・威儀	26	3-4 岡村増太郎：『 ^{高等小学} 算数教科書』——教授法と教具	88
1-2 森文相時代の師範教育——科学的批判精神をおしころす(野口援太郎)	28	3-5 文学社：『 ^{小学} 新算術 ^{尋常科児童用} 』——検定教科書の完成	90
1-3 過渡期の「理科」教科書	31	3-6 今泉祐善：『算術教授法』——算術教育の目的	92
1-4 文部省：『尋常小学読本』中の理科的事項	35	3-7 峯是三郎：『教授法講義』——出題の注意	94
1-5 文部省：『高等小学読本』中の科学教材	36	3-8 金沢長吉：『 ^{単級多級} 算術教授法及教案』——体験から出た教授法	96
1-6 化学教育の改革に関する桜井・中沢論争	39	3-9 富永岩太郎：『算術教授法精義』——実験実測の必要	99
1-7 高橋章臣：「小学校令時代の理科」	44	第4章 中学校数学の整備	103
1-8 『高等師範学校附属小学校教授細目』理科	48	*資料	
1-9 「理科」教科書の成立	53	4-1 中学校の発達(岡田良平)	105
1-10 西村貞：『理科読本』——総合科学入門	57	4-2 寺尾寿：『 ^{中等教育} 算術教科書』——翻訳書でない最初の算術教科書	107
1-11 「小学校ノ学科及其程度」と「小学校教則大綱」中の理科に関する条項	60	4-3 藤沢利喜太郎：「所謂理論流義算術ノ本邦普通教育ニ不適当ナルコト」——理論算術に対する攻撃	110
第2章 初等教育における技術教育の萌芽と挫折	61	4-4 藤沢利喜太郎：『初等代数学教科書』——専門家の手に成る最初の代数教科書	113
*資料		4-5 わが国における代数学の歴史(藤沢利喜太郎)	115
2-1 中川重麗：『工業小学』	65	4-6 菊池大麓：『初等幾何学教科書』——イギリス流の幾何教科書	117
2-2 後藤牧太：「手工科に就きて」	66	4-7 菊池大麓：「幾何学ニ於テ記号ヲ用キルコトニ就テ」——幾何と代数と	
2-3 上原六四郎：「手工科教授法講義」	70		
2-4 「師範学校小学校手工科取調報告書」	73		
2-5 初期の手工科教科書・教授書一覧	77		

の峻別	118
4-8 わが国における幾何学の歴史(藤沢利喜太郎)	119
4-9 斐太中学校の数学科教授法	122

第5章 国定教科書時代の算術教育

*資料

5-1 文部省：『高等小学算術書』『尋常小学算術書』児童用	127
5-2 文部省：『尋常小学算術書編纂趣意書』	128
5-3 広田虎之助：『聚楽式算術教授法』——現場教師の教科書批判	134
5-4 大川義行：『初学年を主とする各科大教授法』——国定教科書の趣旨を遵守	138
5-5 島田民治：『新国定教科書算術科教授要義』——国定教科書に忠実に	140
5-6 木村仁止：『算術新教授法』——国定教科書改良意見	142
5-7 文部省：『国定教科書意見報告彙纂』——各師範学校の国定教科書修正意見	144

第6章 科学技術ジャーナリズムの成

立

*資料

6-1 山泉悌三郎：『理科仙郷』	151
6-2 小松忠二郎：『少年理科物語』	153
6-3 竹貫直人：『数学遊戯』	157
6-4 石井研堂の理科読物(木村小舟)	159
6-5 石井研堂：『少年工芸文庫・時計の巻』	162
6-6 木村小舟：「博物標本採集会」	166
6-7 武田桜桃：「教育博物館」	167
6-8 巖谷小波：『小学算術唱歌(名算術早まなび)』	170
6-9 『数学雑誌』の創刊(松岡文太郎)	174
6-10 矢島一三：「雑誌『理学界』のこと」	176
6-11 後藤牧太：『誰にもできる物理の実験』	177

第7章 理科教授法研究のはじまりと

国定教科書の成立

*資料

7-1 「小学校令施行規則」における理科	194
7-2 棚橋・樋口：『小学理科教科書』	194

7-3 棚橋源太郎：「理科教授の教育的価値及び目的」	196
7-4 「理科」の語義と“読自然の説”(高橋章臣)	198
7-5 棚橋源太郎：「理科教材は如何に取扱ふべきか」——理科の概念の五段階教授法	200
7-6 東京高師付属小学校：『小学校教授細目』理科	201
7-7 東京高師付属小学校：『小学校教授細目』尋常小学地理歴史理科	205
7-8 教科書の国定化と理科筆記帳	209
7-9 文部省：『尋常小学理科書(教師用)』	210
7-10 文部省：『尋常小学理科書(教師用)』の動・植・鉱物教材	212
7-11 文部省：『尋常小学理科書(教師用)』の物理・化学教材	214
7-12 理科教授の実際例——「雞」の授業記録(松田良蔵)	216
7-13 松田良蔵：「児童用教科書を用ふる利害」——児童用理科教科書反対論	219
7-14 文部省：『尋常小学理科書(児童用)』	221
7-15 国定理科書に対する批判・意見	222
7-16 文部省：『高等小学理科書』の教材	224
7-17 高等小学校「理科家事科」の成立	225

第8章 初等・中等実業教育の法制化

*資料

8-1 平賀義美：『日本工業教育論』	234
8-2 東京工業学校：「徒弟学校施設ニ関スル意見書」	237
8-3 教育談話会：「実業教育施設ニ関スル意見」	240
8-4 渡会連蔵：「幼年職工教育方案」	242
8-5 実業学校令・徒弟学校規程・工業学校規程	245
8-6 全国工業学校長会議の開催	248
8-7 全国工業学校長会議における菊池文部大臣の演説要旨	252
8-8 「工業学校学科課程並設備調査委員報告要領」	253
8-9 寺田勇吉：「工業教育振作の必要を論ず」	257
8-10 今景彦：「我国の工業教育に対する疑問及該教育制度の改革意見」	259

8-11	杉本源吾：「実業教育上の四大欠点」…	263
8-12	重工業と地方工業学校——福岡県立 小倉工業学校……………	264
8-13	片山潜：「工業学校長手島精一氏に 与ふる公開書」……………	266

第9章 高等専門教育機関の整備 …… 269

*資料

9-1	帝国大学令……………	276
9-2	大学院の創設とそれに対する批判 (大沢謙二)……………	276
9-3	[東京]帝国大学工科大学・理科大学 の教官……………	277
9-4	[東京]帝国大学各分科大学における 講座の種類および数……………	278
9-5	京都帝国大学の創立……………	281
9-6	東北帝国大学の創立……………	284
9-7	九州帝国大学工科大学の創立……………	289
9-8	高等学校における専門教育……………	290
9-9	専門学校令……………	293
9-10	阪田貞一：「東京高等工業学校に就 て」……………	294
9-11	私立明治専門学校の創立……………	296
9-12	秋田鉱山専門学校の創立……………	299
9-13	早稲田大学理工科の開設……………	300

第10章 普通教育における技術教育 ——その変質と定着 …… 303

*資料

10-1	文部省：『小学校 教師用手工教科書』……………	308
10-2	岡山秀吉：「高等小学校手工科の振 興策」……………	312
10-3	金子・西田：「手工科と理科との連 絡」……………	315
10-4	「手工教育に於ける動力設備の発達」…	317
10-5	大阪市小学校共同研究会：『手工科 教材調査報告』……………	318
10-6	内海静：『技能科教授論』……………	321
10-7	中田俊造：「中学校に始めて手工科 を加設せる当時に回顧して」……………	323

第11章 中等技術教育制度の矛盾と改 変 …… 325

*資料

11-1	低度工業教育機関設立の要望……………	330
------	--------------------	-----

11-2	文部省：「実業補習教育調査報告」……	332
11-3	寺崎九一郎：「神戸市に於ける実業 補習教育に就て」……………	336
11-4	電機学校の設立……………	340
11-5	文部省：『工場会社等ニ於ケル実業 補習教育施設ノ情況』……………	342
11-6	田尻生吾：「徒弟教養の実験」……………	345
11-7	牧野啓吾：「長崎市三菱造船所立三 菱工業予備校の状況」……………	346
11-8	私立三井工業学校——企業立による 工業学校……………	349
11-9	東京府立職工学校：「職工の適材教 育」……………	352
11-10	秋保安治：「職工の検定試験制度」……	356
11-11	全国実業学校校長会議工業学校徒弟学 校部会会議録……………	357
11-12	秋保安治：「我が工業教育の欠陥と 其の改善」……………	362
11-13	臨時教育会議「実業教育ニ関スル件」 答申……………	365
11-14	文部省：『実業教育法令改正ノ要旨』…	366
11-15	宇野三郎：「工業教育に関する私見」…	370

第12章 第1次大戦後の理科教育改革 運動 …… 377

*資料

12-1	大島鎮治：「戦争の実物教訓と理科 教授の革新」……………	386
12-2	文部省：「中学校物理及化学生徒実 験要目」——理化学生徒実験奨励の 訓令……………	388
12-3	棚橋・糟谷：『博物実験室案内』—— 生徒実験法の紹介……………	389
12-4	発見的教授法と児童実験の流行への 批判(大島鎮治)……………	392
12-5	神戸伊三郎：「児童実験の成績」……	395
12-6	林博太郎：「理科教育研究会設立の 必要」……………	396
12-7	雑誌『理科教育』の「主張」欄……………	398
12-8	全国理科教育研究大会の開催……………	398
12-9	小学校理科教育始期学年の引き下げ とその根拠……………	400
12-10	自然科(低学年理科)特設運動……………	403
12-11	国定理科書使用の可否と理科筆記帳 の利用……………	407
12-12	国定理科書の改訂……………	409

12-13	信濃教育会：「理科学習帳編纂の趣旨」……………	411	— 国定算術書に忠実に……………	480		
12-14	信濃教育会の理科教育……………	414	15-2	佐藤武：『算術教授革新論』——児童を重視した算術教育……………	483	
12-15	神戸伊三郎：「新学習過程の提案」……………	416	15-3	成城小学校における児童数学教育……………	486	
12-16	川本宇之介：「各国の小学校に於ける理科教育の比較考察」……………	422	15-4	山本孫一：『時勢の要求と算術教授の主張と実際』——新しい時代の開始……………	489	
12-17	沢柳政太郎：「中等学校教授要目廃止論」……………	425	15-5	内藤孫一：「プロジェクトによる算術教育」——生活のための算術……………	491	
12-18	和田八重造：『自然科学入門』——中学一般理科の先駆……………	427	15-6	小倉金之助の『数学教育の根本問題』の背景(大矢真一)……………	495	
第13章 高等専門教育機関の拡大 ……………			431	15-7	小倉金之助：『数学教育の根本問題』——数学教育の伝道の書……………	499
*資料			15-8	清水甚吾：『実験実測算術の自発学習指導法』——最も読まれた算術教育書……………	502	
13-1	田中不二：「現行教育制度、菊池案及び新大学令」……………	436	15-9	仲本三二：『算術の発生的指導法』——生きた生活の問題を……………	505	
13-2	河喜多能達：「化学工業と化学工業教育」……………	438	15-10	山内太一：『大正末期に於ける東京市算術教育の概況』——一般の小学校における算術教育……………	509	
13-3	大河内正敏：「大学程度の工業教育」……………	439	第16章 数学教育改革運動 ……………			517
13-4	青木保：「高等専門教育に教科書を用ふるの可否」……………	443	*資料			
13-5	臨時教育会議「大学教育及専門教育ニ関スル件」答申……………	445	16-1	鍋島信太郎：「数学教育改良運動概観」……………	519	
13-6	大学令……………	446	16-2	文部省：『新主義数学』——数学教育改良運動のはしり……………	522	
13-7	連合工業調査委員会：「工業教育刷新案」……………	447	16-3	国枝元治：「全国中等学校数学科教員協議会決議／回顧」——日本中等教育数学会設立の発議……………	526	
13-8	田中館・横田：「航空学教室設立意見」……………	450	16-4	林鶴一：日本中等教育数学会会長就任演説——日本中等教育数学会の発足……………	530	
13-9	俵国一：「工業教育に就て」……………	452	16-5	佐藤良一郎：「数学教科の組織」——分科主義と融合主義……………	534	
第14章 科学技術ジャーナリズムの発展 ……………			455	16-6	黒田稔：『数学教授ノ新思潮』——直観から理論への段階……………	538
*資料			16-7	新宮恒次郎：『ラッパ初等数学ノ基礎』……………	542	
14-1	中村八郎：『笑ひながら覚えらるる正式の算術』……………	456	16-8	『文部省視学委員復命書』——大正末期における中等学校の数学教育の状況……………	546	
14-2	自学奨励会：『発明家物語』……………	458	■年表……………			551
14-3	肥後盛熊：『読んで算術の知識』……………	463	■参考文献目録……………			568
14-4	高田徳佐：『近世科学の宝船』……………	465	■索引……………			575
14-5	正木不如丘：『身体と食物』……………	469				
14-6	国元東九郎：『算術の話』……………	472				
14-7	『科学画報』の創刊(原田三夫)……………	475				
14-8	『子供の科学』の創刊(原田三夫)……………	477				
第15章 国定教科書批判時代の算術教育 ……………			479			
*資料						
15-1	清水甚吾：『実験算術教授法精義』……………	480				

